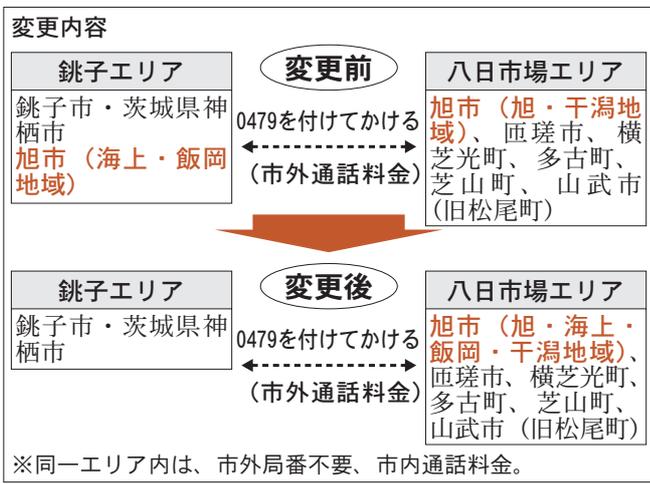


11月1日から 市内同士の通話に 市外局番が不要になります

合併後も、N T TのM A (Message Area) : 市内料金で通話できる区域) の

違いから、同じ市内であっても八日市場エリアであった「旭・干潟地域」と銚子エリアであった「海上・飯岡地域」間で通話する場合には、市外局番を付ける必要や市外通話料金になるなどの不便を生じていました。

今回、N T T東日本のM Aの見直しにより、市内同士の通話はすべて市内局番からダイヤルすればよくなり、通話料金も市内通話料金となりました。



変更日時

11月1日(日) 午前0時10分〜

変更後の留意点

海上・飯岡地域の電話から銚子エリア (銚子市・茨城県神栖市) へかける場合は、市外局番 (0479) を付ける必要があります。同様に銚子エリアの電話から海上・飯岡地域へかける場合も、市外局番 (0479) が必要です。このため、電話機やファクシミリの短縮ダイヤル、転送電話などに電話番号を登録している人は、市外局番から再登録する必要があります。

なお、現在利用中の固定電話や携帯電話の各種サービスに、見直しが必要となる場合がありますので、利用中の電話会社へ問い合わせてください。今回の変更により、電話番号の変更や使用している電話機、ファクシミリなどを交換する必要はありません。※現在の電話機が使用できなくなるなどの、不正セールスに注意してください。

〈問い合わせ先〉
 市役所企画課企画調整班
 ☎62-5307
 N T T東日本銚子営業支店
 ☎0479-2514900

旭市地球温暖化対策推進実行計画の進捗状況を公表

旭市では、地球温暖化対策への取り組みを推進するため、市役所や中央病院の事務・事業を対象とした「旭市地球温暖化対策推進実行計画」を策定し、排出される温室効果ガスの削減を行っています。今回、平成20年度の取り組みに対する「温室効果ガス排出状況」がまとまりましたので、公表します。

1. 計画の期間

平成18年度を基準年として削減目標などを定め、平成20年度から24年度までの5年間での目標達成を目指しています。

2. 平成20年度の結果

温室効果ガス排出量状況

| | 削減目標 (平成24年度) | 排出量 (kg-CO ₂) | | 平成20年度 削減率 基準年 からの増減 (%) |
|-------|------------------|---------------------------|------------|--------------------------------------|
| | | 基準年 (18年度) | 平成20年度 | |
| 本庁など | 7% | 9,152,893 | 9,415,095 | 2.86 |
| 旭中央病院 | 2.5% | 16,869,932 | 16,003,530 | ▲5.14 |
| 全体 | - | 26,022,825 | 25,418,625 | ▲2.32 |

○本庁などは基準年と比較して2.86%増加してしまいました。理由としては、新しい設備の導入や施設の改修工事に伴い、電気使用量が増加したことなどが挙げられます。

○旭中央病院は、基準年と比較して5.14%減少し、削減目標を達成しました。また、全体では基準年と比較して2.32%、温室効果ガスの排出を削減しました。



今後も目標達成に向けて、不必要な照明の消灯や空調の適正管理など、温室効果ガスの削減に向けた取り組みを実施していきます。

地球温暖化問題は、異常気象や生態系への影響など、私たちの生活に直接かかわる重要な課題です。まずは身近なところから一。少しずつでもみんなで取り組んでいくことが重要です。

※実行計画と温室効果ガス排出量の詳細については、市のホームページで見ることができます。

〈問い合わせ先〉

環境課環境政策班 (☎62-5328)